



# Design Spot 250 Pro

取扱説明書

Ver 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は ELATION / Design Spot 250 Pro をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
Design Spot 250 Pro は精密電子機器です。製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書が保証書となりますので大切に保管してください。

## ディスチャージランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージランプは非常に破損しやすいため、取扱いには十分ご注意ください。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手が触れた場合は柔らかい布で電球の表面を拭き取ってください。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意ください。

ディスチャージランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の光輝は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断するために特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないでください。

注: ディスチャージランプを直接見ることは絶対に避けてください。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止めください。再度使用する場合は 10 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用ください。

照度を保つために、ディスチャージランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。そのため、長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意ください。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止めください。

## 安全上のご注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体に損傷がある場合は使用を止めてください。
3. 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止めください。
4. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
5. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行ってください。
6. 電源、電圧が正しい事を確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 電源ケーブルは必ずプラグを持って抜き差ししてください。
9. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
10. 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
11. 極端に温度の違う場所に移動した場合は、すぐに電源を入れしないでください。
12. 本製品を天井から吊るす場合、必ず対応クランプ及びセーフティーワイヤーを使用して設置してください。
13. 本体は壁から約 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
14. 動作中は高温になっていますので、ハウジングには触れないでください。
15. 光源を直接見ないでください。
16. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。また、水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
17. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。

**本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせください。メンテナンス以外の目的において、無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。**

## 基本仕様

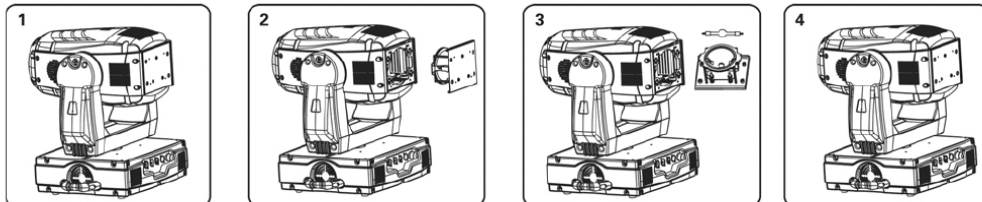
- ・ パン:540°/630°、チルト:265°の動作
- ・ 3つの操作モード:DMXコントロール、スタンドアローン、サウンドアクティブ
- ・ 8色のカラーホイール
- ・ カラーモード選択(モード1:単色、モード2:分割カラー)
- ・ 2ゴボホイールを搭載(7つの回転ゴボ + 7つの静止ゴボ)
- ・ ストロボエフェクト(0~18回/秒)、ランダムstrobo
- ・ プリズム、回転プリズム
- ・ ディマー:0~100%
- ・ RDMX(遠隔DMXアドレス設定)
- ・ テスト動作
- ・ 自動パン/チルト補正
- ・ アイリス(5~100%)、パルスエフェクトアイリス
- ・ 反射防止膜付レンズ
- ・ DMX512対応(3ピン、5ピンDMX接続)
- ・ 電子フォーカス
- ・ 編集可能なユーザープログラム
- ・ PHILIPS MSD250/2 DE ランプを使用(250W/ 8500K / 2000時間 / 18,000Lm)
- ・ パン/チルト ロックシステム

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更となる場合があります。

## 電球の交換方法

電球を交換する前に、まず本体の電源を切り、電球の熱が冷めたことを確認してください。

[ 電球の取り付け手順 ]



1. ランプが取り付けられているプレートを支えながら、ハウジング裏面の A、B と表示されたネジ 2 本を外してください。
2. ソケットホルダーをゆっくり取り出してください。
3. ソケットに電球を取り付けます。必ず MSD 250/2 を使用してください。
4. ソケットにランプを取り付けた後、ソケットホルダーを元の位置に戻し、ネジを締めて固定してください。
5. ランプ交換が終わったら必ずランプの位置調整を行ってください。

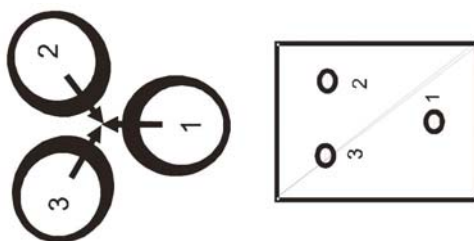
### ランプ位置の微調整

ランプを交換する度に、ランプ位置を微調整する必要があります。これはランプをリフレクターの中央部に位置付けるもので、正しく調整する事で電球の寿命を延ばし、より明るく鮮明に出力されるようになります。この調整を正しく行わないと、光が黄ばみ輝度が低くなります。最低偏差は 1.0mm です。それ以下の偏差で灯体を使用した場合、ランプ・レンズにダメージを与えることがあります。

Design Spot 250 Pro は出荷時にランプホルダーの位置調整を行っていますが、ランプには固体差があるため、細かく調整をする事によって灯体のパフォーマンスが高まる場合があります。以下の手順で正しいランプ位置調整を行ってください。

1. DMX コントローラー、もしくは本体コントロールパネルを使ってランプを点灯させ、光を平面に合わせます。(シャッターオープン、白、ゴボなし、エフェクトなしの状態)
2. 図にあるように、1、2、3 と表記された 3 つの調整ネジを使って、ホットスポット(ビームの最も明るい箇所)を中央に合わせます。ネジを一つずつ回して、投影された映像上でホットスポットを対角線上に動かしていきます。もしホットスポットが判らなければ、光が均一になるまでランプを調節します。
3. ホットスポットが明るすぎる場合は、光が均等に出力されるまで 3 つのネジを一つずつ、時計回りに 1/4 回転ずつ締めていきます。

4. 端の方が中央部よりも明るい、もしくは光の出力が低いようであれば、ランプはリフレクター後方に位置していることになります。各ネジを反時計回りに回すことによってランプを押し出し、ライトが十分明るく、均一に出力されるようにします。



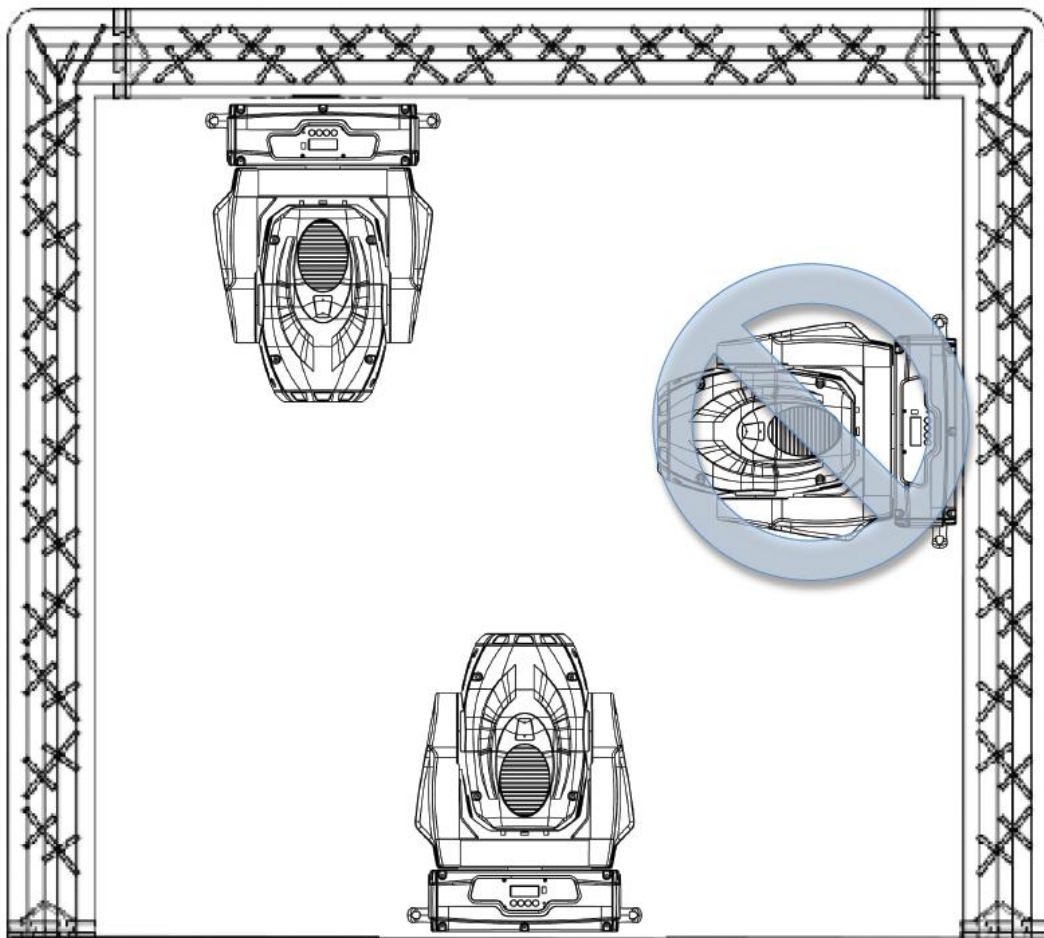
※ MSD250/2 は瞬時再点灯タイプではありません。一度電源をオフにした場合、再度点灯させるまでは 10～15 分ほどの時間が必要になります。この間は電源をいれても点灯しません。

## 本体の設置方法

設置するには、設置面が Design Spot 250 Pro の最低 10 倍の荷重に耐えうることを確認してください。また、セーフティーワイヤーを使って、二次的な安全を確保してください。灯体の設置時、及び撤去時には絶対に真下に立たないようにしてください。

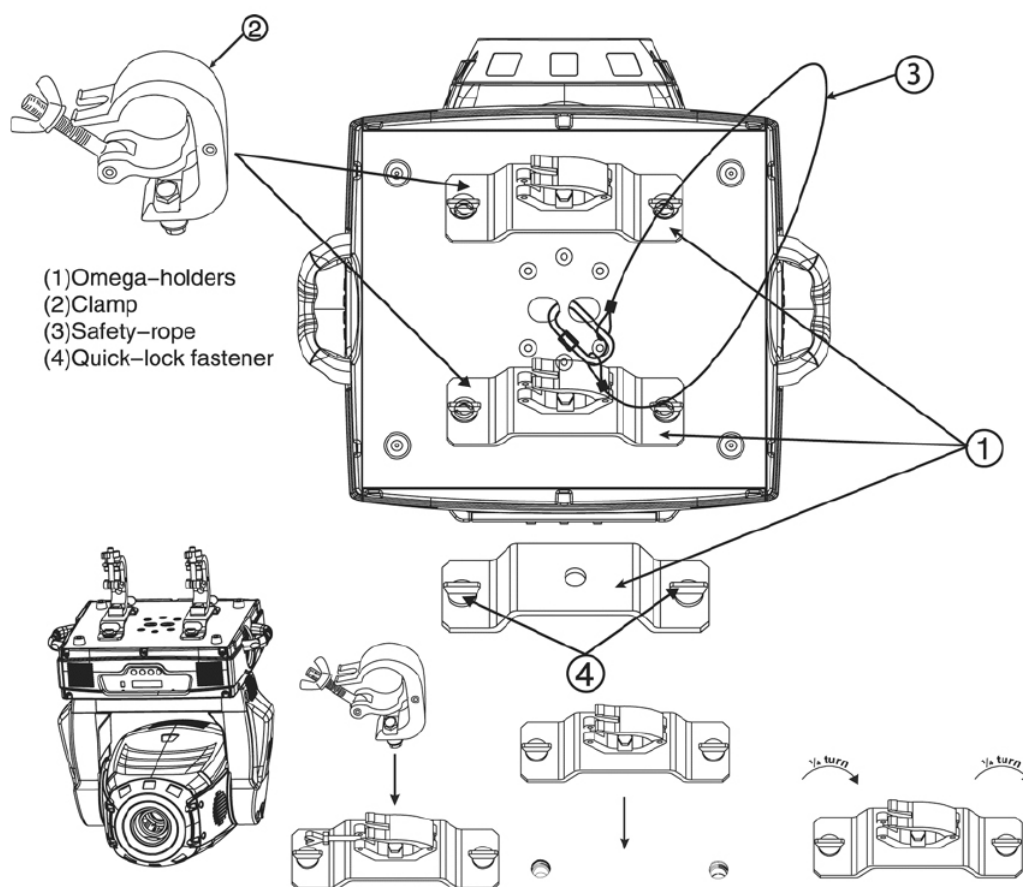
### マウンティング

Design Spot 250 Pro は、天井から吊り下げるか、平面上に設置してください。(下図を参照)  
灯体は、可燃物より 0.5m 以上離してください。



## クランプを使用した設置方法

1. M10 ネジとナットで、各クランプをオメガホルダーに取り付けます。
2. オメガホルダーのクイックロック金具を本体底にある各穴にはめ込みます。
3. クイックロック金具を時計回りに締め込みます。
4. 同様にもう1つのオメガホルダーを取り付けます。
5. セーフティーワイヤーをトラスシステムなどの安全な設置位置に引っ掛けて固定します。セーフティーワイヤーは必ず本体底部中央の専用の穴に通し、持ち運び用のハンドルでは固定しないでください。



- (1) オメガホルダー
- (2) クランプ
- (3) セーフティーワイヤー
- (4) クイックロック金具

## DMX-512 について

### DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用して行います。

お手持ちの XLR ケーブルをコントローラーの XLR メス出力端子に接続し、もう片方を灯体の XLR オス入力端子に接続します。シリアル(直列)接続することにより複数の灯体をつなぐ事が可能です。(DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続してください。)

ピンアサインについては以下の図を参照ください。



DMX Output  
3-Pin XLR Socket



DMX Input  
3-Pin XLR Socket



- 1: Ground
- 2: Data (-)
- 3: Data (+)

DMX Output  
5-Pin XLR Socket



DMX Input  
5-Pin XLR Socket



- 1: Ground
- 2: Data (-)
- 3: Data (+)
- 4: Open
- 5: Open

## DMX ターミネーターについて

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを使用してください。

ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグです。ターミネーターの作成の方法は次頁を参照してください。

## DMX スタートアドレスの選択

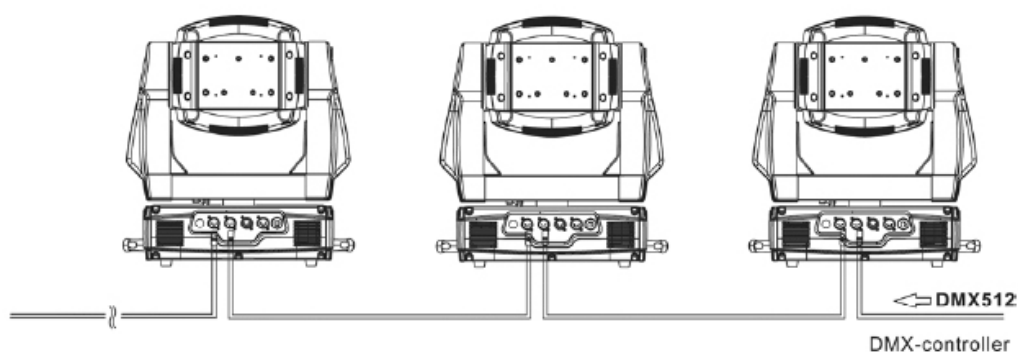
DMX 信号で灯体をコントロールする場合、全ての灯体に DMX スタートアドレスの設定を行う必要があります。DMX スタートアドレスを設定することによって、DMX コントローラーから送られた情報を灯体を読み取り、対応する灯体が信号に反応するようになります。DMX スタートアドレスは本体下部のディスプレイで設定します。

複数の灯体に同じアドレスを設定することも、全ての灯体に異なるスタートアドレスを設定することも可能です。

同じ DMX スタートアドレスが設定された灯体は、同一のチャンネルから同じ信号を受け取ることになり、1つのチャンネルの設定を変更することで、同じDMXスタートアドレスが設定された全ての灯体を同時に制御することができます。

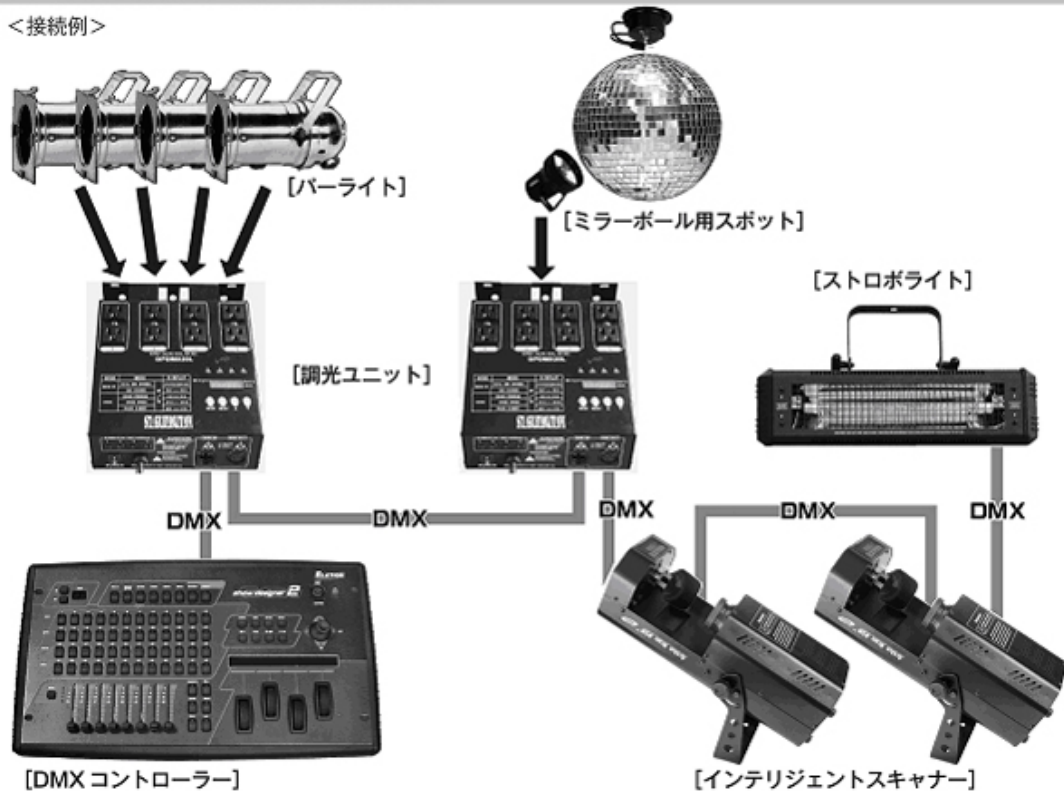
逆に異なるアドレスを設定した各灯体は、個別に設定されたチャンネルからの信号を受け取ることになり、1つのチャンネルの設定を変更すると、そのチャンネルに対応する灯体のみが反応します。

本製品は16チャンネルの灯体なので、複数台を接続して使用する場合、最初の灯体のスタートアドレスは1、その次の灯体のスタートアドレスは17(1 + 16)、3番目の灯体は33(17 + 16)…というようにアドレスを設定します。



## DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くならない様に配線してください。

※


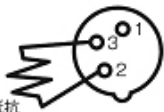
・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。

・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

### ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

## コントロールボード

コントロールボードを使って、スタートアドレスの設定、ランプのオン/オフ、プリセットプログラムの起動やリセットなど様々な操作を行います。

ディスプレイが点灯するまで MODE/ESC ボタンを押して、メインメニューにアクセスします。

UP/DOWN ボタンを押してメニューを閲覧し、変更したい内容を選んで ENTER ボタンを押します。

選択する内容を UP/DOWN ボタンで変更し、ENTER ボタンで確定します。

各メニューの最中で MODE/ESC ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

各機能は以下のセクションで操作/変更することができます。

※デフォルト設定は網掛け文字で表記されています。

Function Mode	Set Dmx Address	001-XXX		DMX アドレスの設定
	Value Display	All Channel****		DMX 値の表示
	Set To Slave	Slave1, Slave2, Slave3		スレーブの設定
	Auto Program	Master / Alone		オートプログラム
	Music Control	Master / Alone		サウンドアクティブ
Information	Time Information	Current Time	XXXX(Hours)	電源 ON にしてからの稼働時間
		Total Run Time	XXXX(Hours)	灯体の動作時間
		Total Lamp Time	XXXX(Hours)	ランプの動作時間
		Lamp Off Time	XXXX(Minute)	ランプ OFF タイム
		Clear Lamp Time	ON/OFF	ランプタイムのクリア
	Temperature Information	Base Temperature	XX C	ベース部ディスプレイボードの温度
		Head Temperature	XXX C	ヘッド部の温度
Software Version	Ver XX		ソフトウェアバージョン	
Lamp Control	Lamp On or Off	ON/OFF		ランプの On/Off
	Automatic La-On	ON/OFF		電源投入時の自動ランプ On
	Lamp On Via DMX	ON/OFF		DMX によるランプ On
	Lamp Off Via DMX	ON/OFF		DMX によるランプ Off
	Lamp Off No DMX	OFF, 01Min-19Min		DMX 信号を受信していない時のランプ Off
	Lamp On at Temp	45C, 20-79C (113C, 68-174F)		温度によるランプのリスタート
	Lamp Off at Temp	130C, 80-139C (266F, 176-282F)		温度によるランプのオフ
Personality	Status Setting	Address via DMX	ON/OFF	DMX によるアドレス設定
		No DMX Status	Auto/Music/Close/Hold	DMX 信号を受信していない時の動作
		Pan Reverse	ON/OFF	パンリバース動作
		Tilt Reverse	ON/OFF	チルトリバース動作

		Fine Resolution	ON/OFF	16bit(16DMXch) /8bit(14DMXch) 切替
	Status Setting	Pan Degree	630/540	パン角度選択
		Dimmer Speed	Slow/Quick	ディマースピードの選択
		Feedback	ON/OFF	フィードバック
		Movement Speed	Speed 1-3	動作スピードの選択
		Mic. Sensitivity	70%, 0-99%	マイク感度調整
	Service Setting	Service Password	Password=XXX	サービスコード "050"
		Fan Voltage	High/Low	ファン電圧の選択
		Color & Gobo Speed	Quick/Slow	カラー/ゴボスピードの調節
	Fans Control	Auto Speed / High Speed / Low Speed		ファンスピード
	Display Setting	Shut off Time	OFF-59	ディスプレイ消灯時間
	Temperature C/F	Celsius / Fahrenheit		摂氏/華氏の切り替え
	Initial effect	Auto Program...	Auto Program=XXX	最初のエフェクト位置
	Reset Default	ON/OFF		本体の初期化
Reset Function	Reset All		全モーターのリセット	
	Reset Pan & Tilt		PAN/TILT のリセット	
	Reset Colors		カラーホイールのリセット	
	Reset Gobos		ゴボのリセット	
	Reset Shutter		シャッター/ディマーのリセット	
	Reset Others		その他モーターのリセット	
Effect Adjust	Test Channel	Auto Program...		テスト機能
	Manual Control	Auto Program :	Auto Program=XXX :	ランプの微調整
	Calibrate Values	—Password— PAN :	Password=XXX PAN=XXX :	エフェクトのキャリブレーション調整 パスワード "050"
Users Mode Set	User Mode	XXXXXX (Band) User Mode A User Mode B User Mode C		チャンネルナンバー変更用のユーザーモード
	Edit User Mode A Edit User Mode B Edit User Mode C	PAN :	PAN=CH01 :	プリセットのユーザーモード
	Edit Program Select Programs	Program Part1 Program Part2 Program Part3	Program1-10 Program1 Program1-10 Program2 Program1-10 Program3	使用するプログラムの選択

	Edit Program	Program 1 : : Program10	Program Test Step01 =SCxxx : Step64 =SCxxx	Edit Step XX	Step XX = ScX XX	プログラムのテスト ループプログラム 保存
	Edit Scenes	Edit Scene 001 - Edit Scene 250	Pan, Tilt ... Input By Out Scene Time	Pan=XXX...	TIME=XX.Xs	保存、オートリターン マニュアルによるシーンの編集
	Rec. Controller	XXX-XXX				自動シーン記録

## **Function Mode メニュー**

### **DMX アドレス設定**

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Set Dmx Address と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して任意のアドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。新しいアドレスが保存されると自動的にメインメニューに戻ります。

### **DMX 値の表示**

各チャンネルの DMX 値を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Value Display と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して表示させたいチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### **スレーブの設定**

スレーブに設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Set To Slave と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して設定するスレーブを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### **オートプログラム**

プログラムを起動します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Auto Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Master / Alone を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **ミュージックコントロール**

内蔵マイクで感知した音に反応してプログラムが動作します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Music Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Master / Alone を選択し、ENTER ボタンを押します。

## Information メニュー

### 各時間の表示

Current Time: 電源を ON にしてからの稼働時間を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
  2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
  3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
  4. UP/DOWN ボタンを押して Current Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと電源を ON にしてからの稼働時間が表示されます。
  5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。
- ※電源をOFFにするとリセットされます。

Total Run Time: 本製品の合計稼働時間を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Total Run Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと本製品の合計稼働時間が表示されます。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Total Lamp Time: 電球の点灯時間を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Total Lamp Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと電球の合計稼働時間が表示されます。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Lamp off time: 電球を OFF にしてからの時間を表示します。電球を ON にするとリセットされます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと電球を OFF にしてからの時間が表示されます。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Clear lamp time: 電球の点灯時間をリセットします。電球を替えた時は必ず点灯時間をリセットするようにしてください。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Clear Lamp Time と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して ON と表示させ、ENTER ボタンを押すと、電球の点灯時間をリセットします。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### 温度の表示

Base Temp: ベース部分(LCD ディスプレイ付近)の温度を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Base Temperature と表示させ、ENTER ボタンを押すと、ベース部分の温度を表示します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Head Temp: ベースのディスプレイボード(CMY フィルター付近)の温度を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Head Temperature と表示させ、ENTER ボタンを押すと、ヘッド部分の温度を表示します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### ソフトウェアバージョンの表示

本製品のソフトウェアのバージョンを表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Software Version と表示させ、ENTER ボタンを押すと、本製品のソフトウェアバージョンを表示します。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## **Lamp Control メニュー**

### **電球の点灯/消灯**

コントロールボード上で電球の ON/OFF の操作を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On or Off と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **電球の自動点灯**

本体の電源 ON 時、自動的に電球が ON になるように設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Automatic La-On と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **DMX コントローラーを使った電球の点灯**

DMX コントローラーを使って電球の点灯操作を行えるよう、設定することができます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **DMX コントローラーを使った電球の消灯**

DMX コントローラーを使って電球の消灯操作を行えるよう、設定することができます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **DMX 信号の有無による電球の操作**

DMX 信号を受信していない時、自動的に電球が消灯する設定を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off No DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して OFF または 1Min~19Min を選択し、ENTER ボタンを押します。

## 温度による電球の再点灯

電球の自動消灯後、電球が再点灯する内部温度を設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On at Temp と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して 20~79C または 68~174F を選択し、ENTER ボタンを押します。

## 温度による電球の消灯

電球が自動消灯するヘッド内部の最大温度を 80°C から 139°C の範囲で設定します。

(注: 外部温度は 45°C を超えないようにしてください。)

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off at Temp と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して 80~139C または 176~282F を選択し、ENTER ボタンを押します。

## Personality メニュー

### 各種ステータス設定

#### DMX アドレスの設定

外部コントローラーを使って DMX アドレスの設定を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Address Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して ON を選択し、ENTER ボタンを押すと、この機能が使えるようになります。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。
7. コントローラーでチャンネル1の DMX 値を”7”に設定します。
8. チャンネル 2 の DMX 値を”7”か”8”に設定します。”7”に設定した時は、スタートアドレスを1から 255 の範囲でスタートアドレスを設定します。”8”に設定した時はスタートアドレスを 256 から 511 の範囲で設定します。
9. チャンネル 3 の DMX 値を任意のスタートアドレスに設定します。チャンネル 3 のスタートアドレスを 57 にしたい時はチャンネル1の DMX 値を 7、チャンネル 2 の DMX 値を 7、チャンネル 3 の DMX 値を 57 に設定します。同様にチャンネル 3 のスタートアドレスを 420 にしたいのであれば、チャンネル1を”7”、チャンネル 2 を”8”、チャンネル 3 を”164”に設定します。  
(256+164=420)

※ 本体がリセットを実行するのに 20 秒程かかります。その後スタートアドレスが設定されます。

### DMX 信号を受信していない時の設定

DMX 信号を受信していない状態での起動パターンを Auto Program、Music Control、Close Shutter、Hold の中から選択します。デフォルトの設定では Hold になっています。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して No DMX Status と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Auto Program / Music Control / Close Shutter / Hold から選択し、ENTER ボタンを押します。

### パンリバーズ

パンの動作を反転させます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して PAN Reverse と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

### チルトリバーズ

チルトの動作を反転させます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Tilt Reverse と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

### ファインリゾリューション

パン、チルト動作を 16bit(16DMXch)または 8bit(14DMXch)に切り替えます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Fine Resolution と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。On にすると 16bit (16DMXch)、Off に設定すると 8bit (14DMXch)になります。

## パン角度

パン動作の角度を 630° もしくは 540° のどちらかに設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Pan Degree と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して 630 / 540 を選択し、ENTER ボタンを押します。

## ディマースピード

ディマーシャッターのスピードを変更します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Dimmer Speed と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Quick / Slow を選択し、ENTER ボタンを押します。

## フィードバック

パン、チルト動作のフィードバック機能を設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Feedback と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

## 動作スピード

パン、チルト動作のスピード機能を変更します。

- Speed 1 (デフォルト) : Design Spot 250 よりもゆっくり、スムーズで正確な動作
- Speed 2 : パン/チルトスピードは、Design Spot 250 と同じ
- Speed 3 : Design Spot 250 より 0.5 秒早いパンスピード。チルトは Speed 2 と同じ。

## マイク感度

内蔵マイクの感度を 0% から 99% の範囲で調節します。デフォルトの設定では 70% となっています。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Mic. Sensitivity と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して 0-99% で選択し、ENTER ボタンを押します。

## サービス設定

### サービスパスワード

ホイールのキャリブレーション、ファン電圧、ゴボのスピード設定の際、パスワードを入力する必要があります。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Service Password と表示させ、ENTER ボタンを二度押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して 050 と表示させ、ENTER ボタンを押します。

### ファン電圧

ファンの電圧を Low と High の 2 種類から選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Fan Voltage と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Low / High を選択し、ENTER ボタンを押します。

### ゴボスピード

ゴボホイールのスピードを調節します。Slow は Design Spot 250 と同じ速度です。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Color & Gobo Speed と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Quick / Slow を選択し、ENTER ボタンを押します。

### ファンの調節

ファンのスピードを調節します。オートと高速と低速の 3 種類の中から選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Fans Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Auto Speed / High Speed / Low Speed を選択し、ENTER ボタンを押します。

### ディスプレイの設定

ディスプレイを消灯させるまでの時間を調整します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Display Setting と表示させ、ENTER ボタンを二度押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して OFF-59 の間で選択し、ENTER ボタンを押します。

## 表示温度単位の設定

表示される温度の単位を摂氏(Celsius)か華氏(Fahrenheit)のどちらかに設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature C/F と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Celsius / Fahrenheit を選択し、ENTER ボタンを押します。

## 初期エフェクト値の設定

各チャンネルがどの値から始まるか設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Initial effect と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して変更するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して数値を変更し、ENTER ボタンを押します。

## 工場出荷時設定へのリセット

工場出荷時の設定に戻します。全ての設定はデフォルト値に戻されます。また編集したシーンは失われます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Reset Default と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON / OFF を選択し、ENTER ボタンを押します。

## Reset Functions メニュー

コントロールボード上で本体のリセット動作を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Reset Function と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押してリセットするチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。

## Effect Adjust メニュー

### 各機能のテスト

各チャンネルの機能が正しく動作しているかテストを行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Test Channel と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してテストするチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。

### 電球位置の微調整(手動操作)

ランプ位置を微調整するための準備を行います。各機能を使って白色オープン、ディマー100%に設定し、平面に照射して電球位置の微調整を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Manual Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して調整するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して数値を調整し、ENTER ボタンを押します。
6. 前述の「ランプ位置の微調整」に従って、ランプ位置を微調整します。

### キャリブレーション調整

カラーやゴボ、シャッターなどエフェクトホイールのキャリブレーション微調整を行います。パスワードは 050 です。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Calibrate Values と表示させ、ENTER ボタンを二度押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Password050 と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して調整するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
6. UP/DOWN ボタンを押して数値を調整し、ENTER ボタンを押します。

### Users Mode Set メニュー

#### ユーザーモード

ユーザー指定のチャンネル順を選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して User Mode Set と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して User Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して A～C の中からモードを選択し、ENTER ボタンを押します。

#### ユーザーモードの編集

ユーザー指定のチャンネル順を設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して User Mode Set と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit User Mode A～C と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して CH 値を調整し、ENTER ボタンを押します。

## **Edit Program メニュー**

### **プログラムの選択**

プログラムを選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Select Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Program Part1-3 を選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Program1-10 を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **プログラムの編集**

プログラムを編集します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するプログラムを 1～10 から選択し ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して編集するステップを選択し、ENTER ボタンを押します。Program Test を選択するとプログラムをテストします。
6. UP/DOWN ボタンを押して登録するシーンナンバーを選択し、ENTER ボタンを押します。

### **シーンの編集**

プログラム内のシーンを編集します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit Scenes と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するシーンを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して編集するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
6. UP/DOWN ボタンを押して数値を選択し、ENTER ボタンを押します。

### **レコードコントローラー**

DMX コントローラーでプログラムしたシーンをムービングヘッドへ転送します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Rec. Controller と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してシーンナンバーを選択し、ENTER ボタンを押します。

## DMX チャンネル表

### DMX チャンネルの機能と DMX 値

<b>Channel 1</b> PAN の調整 (8bit)	
<b>Channel 2</b> PAN の微調整 (16bit)	
<b>Channel 3</b> TILT の調整 (8bit)	
<b>Channel 4</b> TILT の微調整 (16bit)	
<b>Channel 5</b> カラーホイール	
0-13	オープン / ホワイト
14-27	赤
28-41	青
42-55	緑
56-69	黄
70-83	マゼンタ
84-97	オレンジ
98-111	UV
112-127	ピンク
128-187	レインボーエフェクト (FAST → SLOW)
188-193	回転無し
194-255	レインボーエフェクト (SLOW → FAST)
<b>Channel 6</b> 回転ゴボホイール	
0-9	オープン
10-19	回転ゴボ 1
20-29	回転ゴボ 2
30-39	回転ゴボ 3
40-49	回転ゴボ 4
50-59	回転ゴボ 5
60-69	回転ゴボ 6
70-79	回転ゴボ 7
80-99	ゴボ 1 シェーク (SLOW → FAST)
100-119	ゴボ 2 シェーク (SLOW → FAST)
120-139	ゴボ 3 シェーク (SLOW → FAST)
140-159	ゴボ 4 シェーク (SLOW → FAST)
160-179	ゴボ 5 シェーク (SLOW → FAST)
180-199	ゴボ 6 シェーク (SLOW → FAST)
200-219	ゴボ 7 シェーク (SLOW → FAST)

220-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW → FAST)
<b>Channel 7 回転ゴボインデックス</b>	
0-127	ゴボインデックス
128-187	回転ゴボホイール/時計回り(FAST → SLOW)
188-193	回転無し
194-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW → FAST)
<b>Channel 8 固定ゴボ</b>	
0-13	オープン
14-27	ゴボ 1
28-41	ゴボ 2
42-55	ゴボ 3
56-69	ゴボ 4
70-83	ゴボ 5
84-97	ゴボ 6
98-111	ゴボ 7
112-127	ゴボ 1 シェーク(SLOW → FAST)
128-143	ゴボ 2 シェーク(SLOW → FAST)
144-159	ゴボ 3 シェーク(SLOW → FAST)
160-175	ゴボ 4 シェーク(SLOW → FAST)
176-191	ゴボ 5 シェーク(SLOW → FAST)
192-207	ゴボ 6 シェーク(SLOW → FAST)
208-223	ゴボ 7 シェーク(SLOW → FAST)
224-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW → FAST)
<b>Channel 9 3面回転プリズム、プリズム/ゴボマクロ</b>	
0-3	オープン
4-63	前方回転(FAST → SLOW)
64-67	回転無し
68-127	後方回転(SLOW → FAST)
128-135	マクロ 1
136-143	マクロ 2
144-151	マクロ 3
152-159	マクロ 4
160-167	マクロ 5
168-175	マクロ 6
176-183	マクロ 7
184-191	マクロ 8

192-199	マクロ 9
200-207	マクロ 10
208-215	マクロ 11
216-223	マクロ 12
224-231	マクロ 13
232-239	マクロ 14
240-247	マクロ 15
248-255	マクロ 16
<b>Channel 10 フォーカス</b>	
0-255	遠方から近距離まで連続調整
<b>Channel 11 シャッター/ストロボ</b>	
0-31	シャッタークローズ
32-63	シャッターオープン
64-95	ストロボエフェクト(SLOW → FAST)
96-127	シャッターオープン
128-159	パルスエフェクト
160-191	シャッターオープン
192-223	ランダムストロボエフェクト(SLOW → FAST)
224-255	シャッターオープン
<b>Channel 12 デイマー</b>	
0-255	輝度 0-100%
<b>Channel 13 アイリス</b>	
0-191	アイリス操作(最大直径 → 最小直径)
192-223	クローズパルスエフェクト(FAST → SLOW)
224-255	オープンパルスエフェクト(SLOW → FAST)
<b>Channel 14 フロストフィルター</b>	
0-191	フロストフィルター(0% → 100%)
192-223	オープンパルスエフェクト(FAST → SLOW)
224-254	クローズパルスエフェクト(SLOW → FAST)
255	最大フロスト
<b>Channel 15 パン/チルト・スピード</b>	
0-4	スピード (Max)
5-225	スピード (Max → Min)
226-235	動作によるブラックアウト
236-245	ホイールチェンジによるブラックアウト
246-255	機能無し

<b>Channel 16 電球オン/オフ、リセット、内部プログラム</b>	
0-19	ノーマルカラーチェンジ(ソリッドカラー/ゴボのみ)
20-29	色の分割
30-39	色とゴボの分割
40-59	電球オン
60-79	電球オフ
80-84	全モーターリセット
85-87	スキャンモーターリセット
88-90	カラーモーターリセット
91-93	ゴボモーターリセット
94-96	シャッター/ディマーモーターリセット
97-99	その他モーターリセット
100-119	内部プログラム 1 (EEPROM シーン 1-8)
120-139	内部プログラム 2 (EEPROM シーン 9-16)
140-159	内部プログラム 3 (EEPROM シーン 17-24)
160-179	内部プログラム 4 (EEPROM シーン 25-32)
180-199	内部プログラム 5 (EEPROM シーン 33-40)
200-219	内部プログラム 6 (EEPROM シーン 41-48)
220-239	内部プログラム 7 (EEPROM シーン 49-56)
240-255	サウンドアクティブ(Program 1 のシーン)

## エラーコード

電源を入れると、灯体は自動的にリセット/テストモードになり、全ての内部モーターが一度ホームポジションに戻ります。もし1つ、もしくはそれ以上のモーターに異常が見られた場合、ディスプレイ上に“XXEr”というエラーコードが表示されます。XXには各チャンネルメニューが表示されます。例えば、ディスプレイに“02 Er”と表示された場合、チャンネル 2 に何らかのエラーがあると言う事になります。チャンネル1、2、5 で同時にエラーが発生した場合、“01 Er”、02 Er”、“05 Er”と3つの表示が5回点滅し、灯体がリセット信号を発信して全てのモーターがリセットされます。3回以上リセットしてもまだエラーメッセージが出た場合、3つ以上のエラーが存在しないか検知します。3つ以上のエラーがある場合、全てのチャンネルが正しく動作せずスタンバイモードになります。エラーが3つ未満の場合、エラーのあるチャンネルだけが正しく動作しませんが、他のチャンネルは正しく動作します。

### 01 Er : パン動作のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にヨーク部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常(モーター不良、及びPCB上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

### 03 Er : チルト動作のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にヘッド部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはチルト機構のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常(モーター不良、及びPCB上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

### 05 Er : カラーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にカラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常(モーター不良、及びPCB上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

### 06 Er : 回転ゴボホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時に回転ゴボホイール 1 がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常(モーター不良、及びPCB上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

#### **07 Er : 回転ゴボインデックスのエラー**

起動時、及びリセットコマンド時にゴボがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

#### **08 Er : 固定ゴボホイールのエラー**

起動時、及びリセットコマンド時に固定ゴボホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)がある際に表示されます。

#### **09 Er : プリズムホイールのエラー**

起動時、及びリセットコマンド時にプリズムホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)がある際に表示されます。

#### **10 Er : フォーカスのエラー**

起動時、及びリセットコマンド時にフォーカスがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)がある際に表示されます。

#### **13 Er : アイリスのエラー**

起動時、及びリセットコマンド時にアイリスがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネットインデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)がある際に表示されます。

## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜期間＞内は目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 クリーニングには湿らせた柔らかい布を使用してください。アルコールやシンナー溶剤などは使用しないでください。

### 外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

### カラーフィルター ＜一ヶ月に一度＞

■カラーフィルターが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

### ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。ベアリング部は耐熱性が高く軟らかいオイル等を塗布してください。

### ガラス・ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。ベアリング部は耐熱性が高く軟らかいオイル等を塗布してください。

### プリズム <一ヶ月に一度>

■プリズムレンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布してください。

### ディマー/シャッター <一ヶ月に一度>

■ディマー/シャッターの動作状況を確認する光学センサーに埃が付着すると、正常に動作しなくなる可能性があります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

### 内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

### ファンおよび通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

### 内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

### 電球ソケット部分 <一ヶ月に一度>

■電球ソケット部分に埃や汚れがつきますと、ショート恐れ、電球が切れやすくなります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。

### 信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

- 差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。  
→ エアーダスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

### ネジ <三ヶ月に一度>

- 各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。  
→ 各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

### 電球 <一ヶ月に一度>

- 電球が正しく装着されていないと、埃やゴミが入り、ショートや電球破損の恐れがあります。また、電球はガラス球内部の圧力が高いものがあります。落としたり、物をぶついたり、傷をつけると破損/破裂の原因となります。  
→ 規定の電球か、口金が錆びていないか、ヒビ等破損箇所がないかご確認ください。

## ヒューズの交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

## 製品仕様

電源	AC100V、50/60Hz
電球	MSD250/2
カラー	8 ダイクロフィルター + ホワイト、ハーフカラー対応
ゴボ	ゴボホイール 1: 交換可能な回転ゴボ 7つ、オープン ゴボホイール 2: 交換可能な固定ゴボ 7つ、オープン ゴボ直径: 26.9 mm、イメージサイズ 23 mm ゴボ厚さ: ガラス=1 mm、スチール=0.15 mm
シャッター/ストロボ /ディマー	ストロボエフェクト 1-18 フラッシュ/秒 ディマー 0-100%
プリズム	3 面プリズム、可変回転スピード
アイリス	モーター稼働のアイリス、パルスエフェクト
フォーカス	モーター稼働のフォーカス
DMX チャンネル	16(デフォルト)、または 14
DMX ドライブ	DMX512
パン/チルト	パン動作: 最大 630°、2.0 秒、16 ビット チルト動作: 最大 265°、1.5 秒、16 ビット
箱寸法	42.5 x 42.5 x 50 cm
重量	25kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更となる場合があります。



## 保証書

### 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合ほどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。